

登録コード	MA700600	開講年度	2026				
授業科目名	国際保健論					担当教員	五十嵐 久人
英文授業名	International Health					副担当	西澤 公美
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5 時限	対象専攻 / 学年	保健学専攻共通 / 1 年次
講義室	保健学科 2 1 2 講義室		授業形態	講義	授業科目区分	選択科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)						
	【研究科共通】自らの得た成果を世界に向けて発表するグローバルな情報発信能力を有するとともに、国際的な諸課題に積極的に取り組むことができる。					国際的な健康問題を理解することができる。	
	【保健学】国際的な諸問題に積極的に取り組み、共同研究や活動に参画できる能力を有する。					国際的な健康問題に対して医療制度、医療専門家の役割の多様性と普遍性を理解することができる。	
(2)授業の概要	このコースでは、グローバルヘルスの問題と医療専門家の国際協力について学びます。国際保健の基本的な事項を確認した後、教員が提示する論文・文献、または学生が興味のあるテーマを選択した論文・文献を読み解き、プレゼンテーションを通して、国際的な健康問題、医療提供システム、または医療専門家の役割の違いや共通点などを見つけ、これらの問題のさらなる改善について話し合います。また、国際社会における国際協力とキャリア開発についても話し合います。						
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	1. 国際的な健康問題を理解する。 2. 国際的な健康問題に対しての、医療制度、医療専門家の役割の多様性と普遍性を理解する。						
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	1. 国際的な保健活動の取組みの概要と課題を述べるができる。 2. 国際的な保健活動の中で専門職員が果たす役割と課題を記述できる 3. 国際保健の課題を解決するための方策を説明することができる。 4. 海外の保健課題解決の例を探究し、自ら思考しながら学修できる。 5. 海外と国内の保健活動を比較・考察し、国際社会でどのようにキャリアを積み上げていくか説明できる。						
(5)授業計画	第1回（4/15）イントロダクション（国際保健とは）（五十嵐） 第2-3回（4/22.30）途上国の健康課題（五十嵐） 第4-5回（5/13.20）近年のグローバルヘルスのトピックス（西澤） 第6回（5/27）在日外国人の健康支援（五十嵐） 第7-10回（6/3. 6/10.17.24）海外の健康課題に関する文献抽出演習：関連文献の批判的吟味（五十嵐） 第11-14回（7/1.7/8.15.22）海外の健康課題への介入に関する文献抽出演習：関連文献の批判的吟味（西澤） 第15回（7/29）まとめ：国際保健における保健医療職の役割（五十嵐） 授業順については、担当教員の都合により変更することがあります。その際は、適宜連絡します。						
(6)授業の進め方	教員から事前に海外の論文や文献を提示、または、学生の興味のある海外の保健活動に関連した論文・文献を選択してもらいます。その資料をもとに学生がプレゼンテーションを行い、内容についてディスカッションを行います。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事前学習】プレゼンテーション・グループディスカッションでは学生中心に進めるので資料作成、話し合いの資料やテーマの準備をしてください。 【事後学習】ディスカッションを通して不明な点や理解が不十分であった点を調べ、解決できるようにしてください。						
(8)成績評価の方法	プレゼンテーションの内容70%、ディスカッションの内容30%により評価します。 60%未満は授業の達成目標の水準に到達しないと評価します。						
(9)成績評価の基準	90-100点秀、80-89点優、70-79点良、60-69点可、60点未満不可とする。 プレゼンテーションについて 内容の適切性（15点）：指定課題の内容にそって十分な情報と分析が行われており、適切に内容がまとめられている。 構成の適切性（15点）：論理的に構成され、情報・分析と自己の考えが明確である。 資料の適切性（15点）：理解しやすく適切な表現で、図表等を効果的に用いている。 発表姿勢の適切性（15点）：視線や声量、話すスピードが適切で一貫性のある態度である。 質問への応答（10点）：質問に適切にこたえ、自身の不明点を適切に伝えることができている。 ディスカッションの参加度 論理性（10点）：論理的なディスカッションができる 主体性・積極性（10点）：主体的・積極的に参加する。 協働性（10点）：他者の意見をよく聴き、相互に有効なディスカッションにできる。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	学生は、自分の場所や環境から国際的で異文化の環境に目を向け、身近な健康問題をグローバルな視点から検討することが奨励されています。また、学生が自分の職業に関連する国際社会で自分のキャリア開発のビジョンを開発することをお勧めします。 e - mail 五十嵐：higaras@shinshu-u.ac.jp						

(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	西 澤：hitnishi@shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	授業内で、適宜紹介します。